

さいたま市立内谷中学校



教育目標 ・進んで学ぶ ・心豊か ・たくましく

令和 元年 8月27日

第463号

〒336-0034 さいたま市南区内谷 6-10-1 TEL 048-861-7571 <http://uchiya-j.saitama-city.ed.jp>

## 「非認知能力」

校長 丹 能成

夏休み中、運動部活動の県大会や関東大会、文化部活動の市や県コンクール、発表会、展覧会が行われました。生徒たちは、随所に素晴らしい力を発揮していました。生徒たちのプレーや演奏、演技、作品の一つ一つに、生徒たちの込められた思いを感じました。生徒たちには、内谷中学校の更なる伝統を築いていって欲しいと思います。

さて、2学期が始まりました。2学期は、体育祭や合唱祭などの大きな学校行事が行われます。生徒たちには、様々な取組を通してたくさんのことを学び、大きく成長して欲しいと願っています。

数年前から世界で「非認知能力」が注目されています。「非認知能力」は、IQ（知能指数）や学力テストなどで測定できる認知能力に対し、測定できない意欲、協調性、粘り強さ、忍耐力、計画性、自制心、創造性、コミュニケーション能力などです。「非認知能力」を高めることで、認知能力も高まり、将来的に高い人間力を身に付けて豊かな人生を送ることができるという研究結果も報告されています。また、「非認知能力」の中でも、「G r i t（グリット）＝やり抜く力」が重要であるといわれています。様々な世界で何かを成し遂げた人たちに共通するのは、恵まれた才能ではなく、誰にも負けない努力、根性、情熱など、つまり「グリット」であり、何かを成し遂げるためには、「グリット」が最も重要であることが科学的にも裏付けされています。

「非認知能力」のベースは、自己肯定感です。自己肯定感とは、自分を「価値ある存在だ」「かけがえのない存在だ」と大切に思う気持ちであり、様々なことに挑戦する意欲や、困難に立ち向かっていく強い心などの基盤となるものです。子どもたちは、「大切にされている」「認められている」という実感をもつことや、「できた」「自分もやればできる」という自信をもつことで、自己肯定感を高めていきます。そのため、子どもたちが自己肯定感を高めていくためには、大人たちの関わりがとても重要となってきます。大人たちが子どもたちのありのままを認め、話をよく聴き、褒めたり励ましたり、一緒に悩み考えたりなど、子どもたちの心に寄り添っていくことが大切となります。

これからも、教職員一丸となって「心と心の触れ合う学校づくり」を推進し、その中で、保護者や地域の皆様と共に、生徒の「非認知能力」を高めていきたいと考えています。保護者、地域の皆様には、引き続き御理解と御協力の程、よろしく願いいたします。

### 《お知らせ》

さいたま市教育委員会では、市内の市立小・中学校に特別支援学級の整備拡充を進めており、来年度から本校に「特別支援学級」が設置されることになりました。

特別支援学級は、特別に支援を必要とする児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を発達に応じて支援するという視点に立ち、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善または克服するため、適切な指導や必要な支援を行う学級です。

今後、教育委員会からの助言を得ながら、特別支援学級の開設準備と運営を行ってまいります。